

つがる西北五連合新病院事業管理者が退任・就任

平成30年3月31日付けでつがる西北五広域連合の病院事業管理者である棟方昭博氏が退任し、それに伴い4月1日付けで新たな病院事業管理者として高杉滝夫氏が就任し、4月2日に市長公室にて辞令交付式が行われました。

高杉氏は、平成23年4月より現つがる総合病院の前身・西北中央病院の院長に着任し、平成26年4月のつがる総合病院開院時から院長を務めていました。

今後はつがる総合病院はじめ圏域内の5医療機関の

運営は、高杉新管理者を中心に進めていくこととなります。

《高杉滝夫氏の略歴》

青森市出身。弘前大学大学院医学研究科卒。弘前大学医学部助教授、弘前市立病院副院長、三戸町国民健康保険三戸中央病院長などを歴任。平成23年4月から五所川原市立西北中央病院長、平成26年4月からつがる総合病院長。



退任された棟方昭博氏(左)

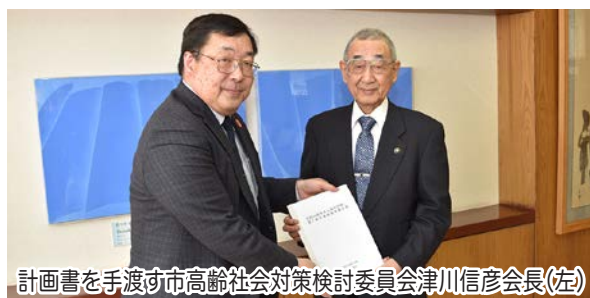


就任された高杉滝夫氏(右)

五所川原市老人福祉計画・第7期介護保険事業計画

地域包括ケアシステム(医療、介護、介護予防、住まい、日常生活の支援が包括的に確保される体制)の構築を目指し、平成30年度から平成32年度までを計画期間とする五所川原市老人福祉計画・第7期介護保険事業計画を策定しました。

高齢者が住み慣れた地域で明るく生き生きと安心して暮らすことができる仕組みづくりを目標とします。



計画書を手渡す市高齢社会対策検討委員会津川信彦会長(左)

市選挙管理委員会が総務大臣表彰を受賞



受賞報告をした白川選挙管理委員長(左)

昨年10月22日に行われた衆議院議員総選挙および最高裁判所裁判官国民審査において顕著な功績があったとして、総務大臣表彰を受賞した市選挙管理委員会の白川昭磨委員長が3月15日、市長に受賞報告をしました。

一昨年の参議院議員選挙に続きE L Mに期日前投票所を増設しました。前回平成26年12月14日執行の衆議院議員選挙では、5,080名の期日前投票者数が昨年は、10,270名と大幅に増加し、うちE L Mでは6,512名が投票を行いました。

白川委員長は「今後も市民の方が投票しやすい環境を作っていきたい」と述べました。

平成30年度 全日本カデ柔道 体重別選手権大会出場



大会へ出場する石岡さん(中央)

4月15日に大阪府立門真スポーツセンター(大阪府門真市)で行われた平成30年度全日本カデ柔道体重別選手権大会に出場した石岡来望さん(五一中3年)が4月3日、市長を表敬訪問しました。

本大会は全日本柔道連盟が出場選手を選出する大会で、石岡さんは昨年の全国中学校柔道大会で63kg級第2位の成績を取めた実績があったため、選ばれました。

石岡さんは「普段の練習の成果を發揮して、精いっぱい戦ってきます」と意気込みを話しました。